

# BroadWorks、Webex for BroadWorks 、および BroadCloud からホールセ ール RTM ソリューションへの移行 ツール

バージョン: 1.8

概要 .....	4
移行ツールのアーキテクチャ .....	4
要件 .....	6
移行計画 .....	7
移行の 1 週間前 .....	7
移行の 2 日前 .....	8
移住当日 .....	8
ホールセール通話に自動的に移行される機能 .....	8
電話機は自動的に移行されました .....	9
卸売通話パッケージの選択 .....	11
<b>BroadWorks または BroadCloud ユーザー アカウントを Webex Calling ワークスペースに変換 する .....</b>	<b>12</b>
パートナーとシスコの移行責任 .....	14
技術 .....	14
移行 .....	16
移行変更管理と GTM .....	16
トークンジェネレーター-(ユーティリティツール) .....	18
前提条件 .....	18
実行手順 .....	18
Windows .....	18
macOS .....	18
ブロードワークスのセットアップ タスク .....	20
OCI-P接続を有効にする .....	20
Open Client サーバーがデプロイされ、アクティブであることを確認する .....	22
Numbers アクティベーションを有効にする .....	23

<b>抽出ツール</b> .....	23
BroadCloud パートナー向け抽出ツール .....	23
ブロードワークス用抽出ツールおよびブロードワークス用 Webex.....	24
SCP と SSH.....	24
前提条件.....	25
実行手順.....	25
ターミナルログ .....	25
出力.....	26
<b>変形ツール</b> .....	26
前提条件 .....	27
を埋める input/customers.csv.....	28
実行手順 .....	28
Windows .....	28
macOS .....	29
顧客/ユーザーの事前チェック .....	29
ターミナルログ .....	29
例外報告書.....	30
出力 .....	30
<b>プロビジョニングツール</b> .....	36
前提条件 .....	37
実行手順 .....	38
Windows .....	38
macOS .....	39
ターミナルログ .....	39
出力 .....	40
<b>デバイス移動ツール</b> .....	41
ブロードクラウド用デバイス移動ツール .....	41
ブロードワークス用デバイス移動ツールおよびブロードワークス用 Webex.....	42
SCP と SSH.....	43
前提条件.....	43
ポリコム電話機.....	43
実行手順.....	45
ターミナルログ .....	46
出力.....	46

コントロールハブを介して電話番号をアクティブ化する .....	47
サポートされていないデバイス .....	48
移行後 .....	48
管理者の影響.....	48
ユーザーへの影響.....	48
移行を元に戻す.....	49
移行を元に戻す - ブロードワークスとブロードワークス向け Webex.....	49
デバイス移動ツールを元に戻すモードで実行する手順.....	50
プロフィールを元に戻す.....	50
番号を元に戻す.....	50
ターミナルログ .....	50
プロフィールを元に戻す.....	50
番号を元に戻す.....	51
移行を元に戻す - ブロードクラウド キャリア .....	51
技術的な制限 .....	51

## 概要

このドキュメントでは、既存の BroadWorks、Webex4BroadWorks、および BroadCloud の顧客を Wholesale Route-to-Market ソリューションに移行するのに役立つ一連の移行ツールについて説明します。移行ツールは、アクセスが簡単なコマンドライン ツールで、移行タスクを自動化することで顧客、場所、番号、ユーザー、サービス、電話、ソフト クライアントを移行できます。移行ツールには次の利点があります。

- 最小限の事前構成で移行を実行します。
- コマンドの実行が簡単になります。
- 管理者は、プロビジョニング後にデータを確認し、移行直後に電話をかけたり受けたりすることができます。
- UC-One クライアントの Webex アプリへの自動アップグレードをサポートしています。

## 移行ツールのアーキテクチャ

各移行ツールは管理者が柔軟に実行し、移行ステータスを監視し、問題があれば再実行できます。さらに、移行ツールは分析メトリックを Webex サービスにフィードして、全体的な移行ステータスを表示します。

移行ツールのアーキテクチャは、さまざまな操作を実行する 4 つの異なるツールで構成されます。

### 1. 抽出ツール

- a. ブロードワークスから企業、グループ、番号、ユーザー、サービス、電話、ソフト クライアントを抽出します。BroadCloud の場合、パートナーはサービス プロバイダー ポータルで抽出リクエストを送信する必要があります。

### 2. 変形ツール

- a. 抽出ツールで抽出した情報を編集可能な JSON ファイルに変換します。

### 3. プロビジョニングツール

- a. 変換ツールの JSON 出力ファイルを入力として使用し、顧客、場所、番号、ユーザー、サービス、電話をプロビジョニングします。 [Webex パブリック API](#)

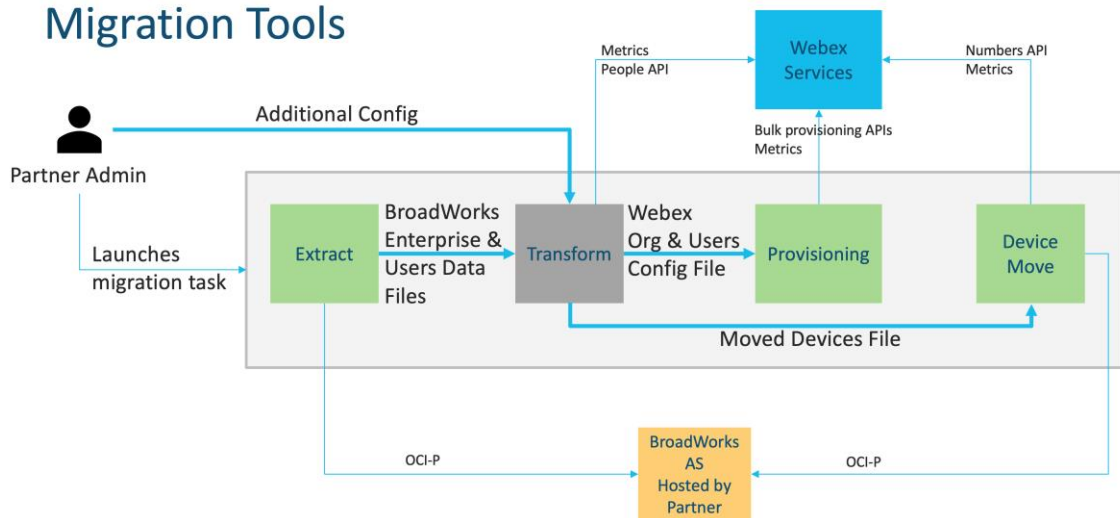
。

### 4. デバイス移動ツール

- a. また、変換ツールの JSON 出力ファイルを入力として使用してプロファイルを再構築し、電話機を再起動し、Wholesale RTM ソリューションで番号をアクティブ化し、BroadWorks で電話番号を非アクティブ化します。
- b. さらに、このツールは、電話およびソフトクライアント プロファイルと番号アクティベーションをブロードワークスに戻すこともサポートしています。
- c. BroadCloud の場合、パートナーはサービス プロバイダー ポータルで移行リクエストを送信する必要があります。

次の図は、管理者が移行タスクを開始した後、ブロードワークス、パブリック API と通信し、将来の分析のためにメトリクスを Webex サービスにアップロードすることによって、4つのツールがどのように順次動作するかを表しています。

## Migration Tools



## 要件

移行ツールを実行する前に、パートナーは次の要件を満たしている必要があります。

1. パートナーおよびパートナー管理者のアカウントは、Wholesale RTM ソリューションにオンボードされている必要があります。販売前の段階では、パートナーは抽出ツールを実行するために Wholesale RTM ソリューションにオンボードされる必要はありません。
2. パートナーは移行前チェックリストに目を通し、すべての要件が満たされていることを確認する必要があります。
3. 抽出ツールとデバイス移動ツールを実行するには、BroadWorks システム管理者の資格情報が必要です。BroadCloud パートナーには適用されません。
4. リスクを最小限に抑えるために、抽出およびデバイス移動ツールはメンテナンス期間中にセカンダリ BroadWorks アプリケーション サーバー内で実行する必要があります。BroadCloud の場合、サービス プロバイダー ポータル内で実行されます。

5. 移行用にサポートされている Webex Calling デバイスについては、このリンクを参照してください - <https://help.webex.com/en-us/article/qkwt4j/Supported-devices-for-Webex-Calling>
6. こちらを参照してください [セクション](#) サポートされていないデバイスの場合。
7. パートナーは、電話機とデバイスでサポートされているファームウェア バージョンを入手するために、シスコのアカウント チームに問い合わせる必要があります。
8. UC-One クライアントは次のバージョンにアップグレードする必要があります。
  - a. Desktop Communicator クライアントの場合、バージョン 22.9.12 以降
  - b. モバイルコネクト クライアントの場合、バージョン 3.9.14 以降。
9. 管理者のマシンには次のものがが必要です JDK/JRE 1.8 プロビジョニング ツールを実行する環境、および MAC/LINUX 変換ツールを実行するには、Python 3.10.5 以降が必要です。
10. 顧客は有効な請求先住所を持っている必要があります、エンド ユーザーはブロードワークスのビジネス用電子メール アドレスを持っている必要があります。値がブロードワークスで利用できない場合、パートナー管理者は顧客に連絡して値を取得する必要があります。変換ツールを実行する前に、これらの詳細を CSV ファイルに追加する必要があります。サンプル CSV ファイルは変換ツールに付属しています。

## 移行計画

移行計画には3つの段階があります。

1. 移行の1週間前
2. 移行の2日前
3. 移住当日

### 移行の1週間前

1. 抽出および変換ツールを実行します。

2. 例外レポートを使用して、ブロードワークスの問題を解決します。
3. 抽出ツールと変換ツールは何度でも実行できます。

## 移行の 2 日前

1. プロビジョニングツールを実行して、Webex Wholesale Calling の顧客、場所、ユーザー、サービス、およびデバイスをプロビジョニングします。
2. 移行前に Control Hub ポータルのデータを確認してください。

## 移住当日

1. デバイス移動ツールを実行して、BroadWorks から Webex Wholesale Calling への移行を完了します。

## ホールセール通話に自動的に移行される機能

これらのユーザー機能は、移行ツールによって自動的に移行されます。

- ボイス メッセージングの設定とカスタム グリーティング (ボイス メッセージは **ない** 移行されました)
- 代替番号
- BroadWorks Anywhere
- にぎやかなランプ畑
- CallerId (カスタム名と電話番号)
- 着信待ち受け
- でんわ転送設定 (常時転送/話中/無応答/連絡不能)
- 通話インターセプト
- 応答不可
- ファクス設定
- リモート オフィス
- 共有コールの形式
- 同時呼び出しパーソナル (スケジュールおよび選択基準を含む)

これらのグループ機能は、移行ツールによって自動的に移行されます。

- 自動応答



- 1つのレベルのみ
- カスタム挨拶
- でんわ転送設定（常時、話中、選択）
- 代替番号
- ホリデーメニューは Webex では利用できません
- BroadWorks Call Center Standard および BroadCloud コールキュー:
  - 基本構成
  - カスタム挨拶
  - エージェントとスーパーバイザー
  - でんわ転送設定（常時、話中、選択）
  - 代替番号
  - 保留音
- コールパーク
- コールピックアップ
- ハントグループ
  - 着信転送設定（常時、話中、選択的、到達不能）
  - 代替番号
- 場所コード (場所またはグループごとに1つ)
- ページンググループ
- スケジュール (グループレベルのみ、企業のスケジュールは移行されません)
- 音声ポータル

## 電話機は自動的に移行されました

以下の表の電話機は、移行ツールによって自動的に移行されます。これらの電話はプロビジョニングツールによって自動的に作成され、Webex Calling のユーザーに割り当てられます。「デバイス移動ツールでサポートされている」列で「はい」とマークされた電話も、デバイス移動ツールの実行時にブロードワークスまたはブロードクラウドから Webex Calling に自動的に移動されます。その列で「いいえ」とマークされている電話機では、BroadWorks デバイス テンプレートまたは電話機自体の DMS URL を手動で変更する必要があります。

最後の列は、ファイルの「デバイス タイプ」列への電話モデルのマッピングを提供します

。

変換ツール/input/newphones.csv。(ページを参照 27 詳細については、newphones.csv を参照してください)

機種	でサポート されています デバイス移 動ツール	デバイスの入力 newphones.csv
Cisco MPP 6821	はい	DMS Cisco 6821
Cisco MPP 6841	はい	DMS Cisco 6841
Cisco MPP 6851	はい	DMS Cisco 6851
Cisco MPP 6861	はい	DMS Cisco 6861
Cisco MPP 6871	はい	DMS Cisco 6871
Cisco MPP 7811	はい	DMS Cisco 7811
Cisco MPP 7821	はい	DMS Cisco 7821
Cisco MPP 7832	はい	DMS Cisco 7832
Cisco MPP 7841	はい	DMS Cisco 7841
Cisco MPP 7861	はい	DMS Cisco 7861
Cisco MPP 8811	はい	DMS Cisco 8811
Cisco MPP 8832	はい	DMS Cisco 8832
Cisco MPP 8841	はい	DMS Cisco 8841
Cisco MPP 8845	はい	DMS Cisco 8845
Cisco MPP 8851	はい	DMS Cisco 8851
Cisco MPP 8861	はい	DMS Cisco 8861
Cisco MPP 8865	はい	DMS Cisco 8865
Cisco MPP 8875	はい	DMS Cisco 8875
Cisco ATA191	はい	DMS Cisco 191
Cisco ATA192	はい	DMS Cisco 192
Polycom VVX101	はい	DMS Polycom VVX101
Polycom VVX150	はい	DMS Polycom VVX150
Polycom VVX201	はい	DMS Polycom VVX201
Polycom VVX250	はい	DMS Polycom VVX250
Polycom VVX301	はい	DMS Polycom VVX301
Polycom VVX311	はい	DMS Polycom VVX311
Polycom VVX350	はい	DMS Polycom VVX350
Polycom VVX401	はい	DMS Polycom VVX401
Polycom VVX411	はい	DMS Polycom VVX411
Polycom VVX450	はい	DMS Polycom VVX450
Polycom VVX501	はい	DMS Polycom VVX501
Polycom VVX601	はい	DMS Polycom VVX601
Polycom Trio 8300	はい	DMS Polycom Trio8300
Polycom Trio 8500	はい	DMS Polycom Trio8500
Polycom Trio 8800	はい	DMS Polycom Trio8800
Polycom SoundStation 5000	はい	DMS Polycom SSIP 5000
Polycom SoundStation 6000	はい	DMS Polycom SSIP 6000
Yealink T33G	はい	DMS Yealink T33G

Yealink T41S	はい	DMS Yealink T41S
Yealink T42S	はい	DMS Yealink T42S
Yealink T43U	はい	DMS Yealink T43U
Yealink T46U	はい	DMS Yealink T46U
Yealink T46S	はい	DMS Yealink T46S
Yealink T48S	はい	DMS Yealink T48S
Yealink T48U	はい	DMS Yealink T48U
Yealink T53W	はい	DMS Yealink T53W
Yealink T54W	はい	DMS Yealink T54W
Yealink T57W	はい	DMS Yealink T57W
Yealink T58V	はい	DMS Yealink T58V
Yealink CP920	はい	DMS Yealink CP920
Yealink CP960	はい	DMS Yealink CP960
Yealink W52B	はい	DMS Yealink W52P
Yealink W56B	はい	DMS Yealink W56P
Yealink W60B	はい	DMS Yealink W60P
Yealink W70B	はい	DMS Yealink W70P

## 卸売通話パッケージの選択

移行ツールには、加入者向けの Wholesale Calling パッケージを選択するためのデフォルトのセットが用意されています。プロビジョニングが完了すると、パートナー管理者は Control Hub でパッケージを変更できます。

BroadWorks から Wholesale Calling に移行する場合、すべての加入者が Webex Calling パッケージを取得します。オプションで、加入者のサブセット、つまりブロードワークスでキャッチホンまたはボイス メールが割り当てられていない加入者に対して、Webex Voice パッケージを選択できます。Webex Voice パッケージは次の場所で有効にできます。transform-tool/conf/partner.cfg.

Webex for BroadWorks から Wholesale Calling への移行の場合、パッケージ マッピングを以下の表に示します。これは構成できません。

ブロードワークス パッケージ用 Webex	卸売通話パッケージ
ソフトフォン	Webex Voice
Basic	Webex Calling
スタンダード	Webex Suite
Premium	Webex Suite

BroadCloud Carrier から Wholesale Calling への移行の場合、パッケージ マッピングは BroadCloud のステーション タイプに基づいています。以下の表は、ファイル内で変更できる  
 ホールセール RTM ソリューションガイド

るデフォルトのマッピングを示しています。transform-tool/conf/rialto\_station\_type\_to\_wholesale\_package.csv。

ブロードクラウド キャリアステーションのタイプ	卸売通話パッケージ
Basic	Webex Voice
電話会議室	Webex Voice
メッセージング	Webex Voice
スタンダード	Webex Voice
エグゼクティブ	Webex Suite
他のすべてのステーションタイプ	Webex Voice

## BroadWorks または BroadCloud ユーザー アカウントを Webex Calling ワークスペースに変換する

BroadWorks または BroadCloud Carrier の一部のユーザーアカウントは、会議室、倉庫、ロビーにある電話など、多くの人々の間で共有されます。このような電話は、Webex ユーザーではなく Webex ワークスペースとして Webex Calling で設定できます。移行プロセス中に、BroadWorks または BroadCloud Carrier の一部のユーザーアカウントをワークスペースに自動的に変換するオプションが利用可能です。

ステップ:

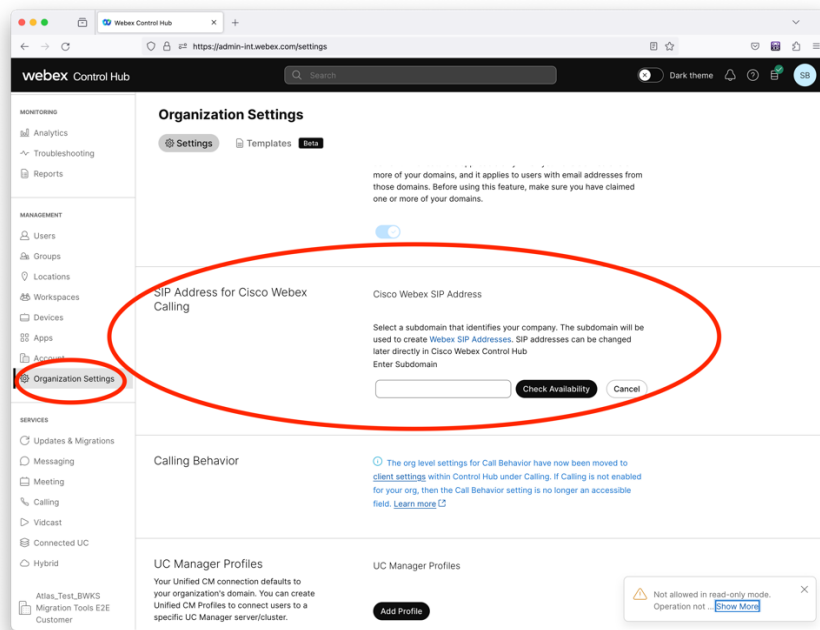
1. ファイル内 transform\_tool/input/users.csv、 「」を割り当てますcommon\_area」パッケージをワークスペースに変換するユーザーに提供します  
例: bwuser@domain,,,common\_area
2. (BroadCloud のみ) 特定のステーションタイプのすべてのユーザーアカウントをワークスペースに変換するには、エントリを transform-tool/conf/rialto\_station\_type\_to\_wholesale\_package.csv 卸売パッケージを「」に設定します。common\_area\_calling」  
例: conference\_room\_v2,common\_area\_calling
3. 通常どおり変換ツールを実行します
4. 通常どおりプロビジョニング ツールを実行します
5. 新しく作成した顧客組織の Control Hub を開き、SIP ドメインを設定します (次のページのスクリーンショットを参照)

## BroadWorks から Wholesale RTM への移行のための移行ツール

6. プロビジョニング ツールを再度実行します。今回は `-workspaces` オプションを使用します。これにより、ワークスペースが作成され、そこに電話が割り当てられます。

制限:

- ユーザー機能の設定 (通話の転送、応答不可設定など) は、ワークスペースに自動的に移行されません。



形1 Control Hub での SIP ドメインの構成

## パートナーとシスコの移行責任

以下の表は、移行タスクを完了する責任者を説明しています。

### 技術

市外局番	アクティビティ	シスコの責任	パートナーの責任
移行の準備	<ol style="list-style-type: none"> <li>顧客の LAN、デバイス、ファームウェアの検証</li> <li>DHCP および SBC 構成の確認</li> <li>MAC アドレス、電子メールアドレス、請求先住所の取得</li> <li>RedSky プロビジョニング</li> </ol>	シスコはパートナーに移行前チェックリストを提供	パートナーは、移行前のチェックリストに照らして移行された顧客を検証する責任があります。
顧客の移行	<ol style="list-style-type: none"> <li>顧客の移行</li> <li>サイトの移行</li> <li>ユーザーの移行</li> <li>グループおよびユーザーサービスの構成</li> </ol>	シスコは自動移行ツール、TAC サポート、およびドキュメントを提供します	パートナーはツールを使用して移行を実行します。
PSTN ルーティングの移行	<ol style="list-style-type: none"> <li>TN ルーティングを新しいホスティングプラットフォームに更新します</li> </ol>	シスコが PSTN ルーティングの移行に関するガイダンスを提供	パートナーは PSTN の移行を担当します

クライアント の移行	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. クライアントのブランディング</li> <li>2. クライアントパブリッシング</li> <li>3. クライアントのダウンロード、ログイン、テスト</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. シスコがクライアントを公開</li> <li>2. シスコが提供する移行ランディング ページ</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユーザーが Webex クライアントをダウンロードする</li> <li>2. ユーザーが新しい Webex パスワードを作成する</li> </ol>
---------------	--	---	--

## 移行

市外局番	アクティビティ	シスコの責任	パートナーの責任
デバイスの移行	<ol style="list-style-type: none"> <li>構成の更新</li> <li>登録とテスト</li> </ol>	シスコは自動移行ツール、TAC サポート、およびドキュメントを提供します	パートナーはツールを使用して移行を実行します。

## 移行変更管理と GTM

市外局番	アクティビティ	責任		ターゲット	
		Cisco	パートナー:	管理者	ユーザー
アップグレードキャンペーン	マルチタッチ キャンペーンを通じて、顧客、管理者、ユーザーに今後の機能を通知します (ビデオ、価値提案、ユースケースなど)。	コンテンツ	実行	✓	✓
MOPのアップグレード	管理者とユーザーに、移行に関連する具体的な日付と指示 (デバイスの再起動、クライアントのダウンロード、ドキュメントなど) を提供します。	コンテンツ	実行	✓	✓
移行後のテスト	新しいソリューションのリモートテストを実行し、管理者に新機能のオンサイトテストをいくつか実行してもらいます	テストスイート	実行	✓	
導入キャンペーン	新機能を推進し、クライアントと新機能の使用状況を監視して、導入を確実にし、問題に積極的に対処します。	コンテンツ	実行	✓	✓





## トークンジェネレーター - (ユーティリティツール)

パートナー管理者は、移行ツールの実行を開始する前に、このトークンジェネレーターユーティリティツールを少なくとも1回実行します。このツールの実行は、パートナーアカウントが Wholesale RTM ソリューションにオンボードされた後の1回限りのアクティビティです。このツールは、パートナー管理者が Web ブラウザ経由でログインして、移行ツールを実行するためにパートナー構成ファイルを更新する必要がある一意のトークンを取得できるユーザーインターフェイスを提供します。

### 前提条件

1. 移行ツールのバイナリをダウンロードして抽出した後、
  - a. をセットする JRE/JDK の環境パス token\_generator.sh MAC用と token\_generator.bat Windows用。このステップはオプションです。もし JAVA\_HOME パスがすでに存在する場合、ツールはそれを使用します。

マック: JAVA\_HOME="/Users/cisco/jdk/zulu@1.8.282/Contents/Home/"

Windows: JAVA\_HOME=C:\Program Files\Java\jre1.8.0\_321

### 実行手順

Windows および MAC オペレーティングシステムでこのトークンジェネレーターツールを実行するには、次の手順に従ってください。トークンジェネレーターディレクトリ内のターミナルで次のコマンドを実行します。

**メモ:** トークン生成ツールを実行するには、以下のポートが使用可能である必要があります。

**ポート:** 8080、50009、50010、50011、50012、50013

Windows

`token_generator.bat`

macOS

`./token_generator.sh`

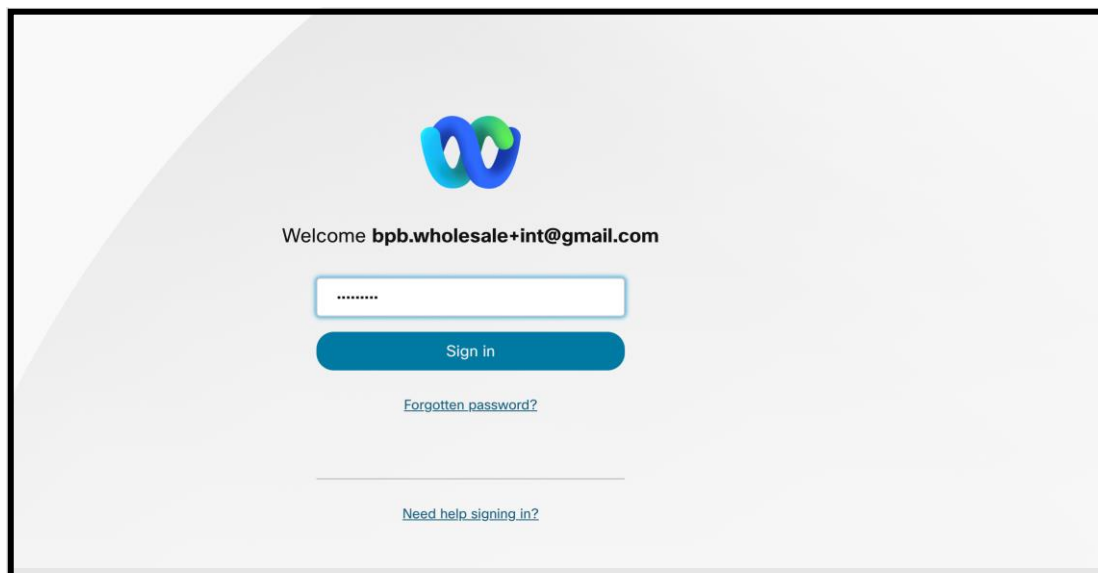
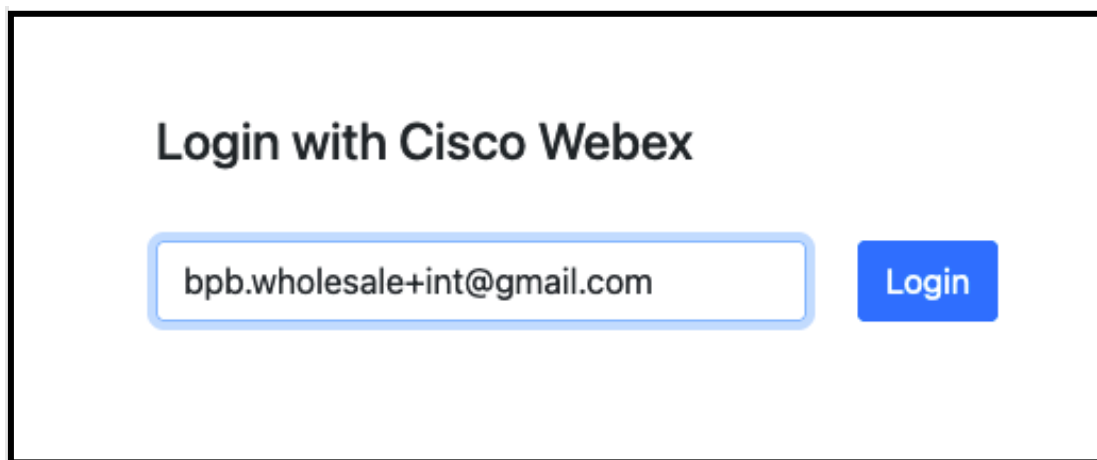
上記のコマンドを実行すると、ターミナルに次の出力が表示されます。

*Tool Name: Token Generator Tool*

*Version: 1.13.0*

*Load the URL in your web browser: http://localhost:8080*

端末に表示されている Web ブラウザで URL を開き、パートナー管理者の資格情報でログインして TOKEN を取得します。参考までに、ユーザー インターフェイスの図を以下に示します。





上のトークンを画面からコピーし、他のツールを実行するときに使用できるようにメモ帳に保存します。

## ブロードワークスのセットアップタスク

セカンダリ ブロードワークス サーバーで抽出ツールとデバイス移動ツールを実行する前に、ブロードワークスで次の構成を構成する必要があります。これは、ブロードワークスとブロードワークス向け Webex に適用されます。これらの手順は BroadCloud には適用されません。

### OCI-P接続を有効にする

抽出するには BroadWorks で OCI-P 接続をオンにする必要があります、デバイス移動ツールは OCI-P コマンドを通じて BroadWorks と通信します。OCI-P 接続を有効にするには、次の手順を実行します。

**ステップ1:** CLI を使用して一般設定を構成します。

CLI で次のコマンドを実行して、GeneralSettings ディレクトリ:

```
AS_CLI> cd /Applications/OpenClientServer/GeneralSettings です。
```

CLI で次のコマンドを実行して、現在の値を取得します。GeneralSettings:

```
AS_CLI/Applications/OpenClientServer/GeneralSettings> get
```

```
clientPort = 2208
clientPortEnabled = true
secureClientPort = 2209
secureClientPortEnabled = true
systemDomain = <>
```

設定が上記と一致しない場合は、**セット** 設定を再構成するコマンド。

**ステップ 2:** CLI を使用して OCI プロキシを構成します。

ディレクトリを OCI プロキシに変更します。

```
AS_CLI> cd /Applications/OpenClientServer/OCIProxy
```

次の CLI を実行して現在の設定を取得します。次の内容が表示されるはずですが。

```
AS_CLI/Applications/OpenClientServer/OCIProxy> get
enabled = true
enabledLoginLevelScreening = false
enableResponseCaching = false
responseCacheDurationHours = 24
responseCacheRenewPeriodMins = 30
messageQueueCapacity = 50
messageQueueTimeoutSeconds = 1800
```

設定が上記と一致しない場合は、**セット** 設定を再構成するコマンド。

**ステップ 3:** CLI を使用して OCI プロビジョニングを構成します。

プロビジョニング ディレクトリに移動します。

```
AS_CLI> cd /System/NetworkAccessLists/OCI/Provisioning
```

次のコマンドを実行して、現在の OCI プロビジョニング設定を取得します。

```
AS_CLI/System/NetworkAccessLists/OCI/Provisioning> get
Address Description
=====
127.0.0.1 ローカルとして
```

**ステップ 4:** CLI で以下のコマンドを実行して、構成が正しいことを確認します。

```
AS_CLI/Maintenance/ManagedObjects> get broadworks and check
that your output looks OK.
```

See below for sample output:

```
AS_CLI/Maintenance/ManagedObjects> get broadworks
```

```
BroadWorks Managed Objects
```

```
=====
```

```
* Server:
```

```
Identity.....: AS
```

```
Version.....: Rel_21.sp1_1.551
```

```
Administrative State..: Unlocked
```

```
* Applications:
```

```
Name Version Deployed Administrative State Effective State
```

```
=====
```

```
ExecutionAndProvisioning 21.sp1_1.551 true Unlocked Unlocked
```

```
FlashPolicy 21.sp1_1.551 false Unlocked Stopped
```

```
OpenClientServer 21.sp1_1.551 true Unlocked Unlocked
```

```
WebContainer 21.sp1_1.551 true Unlocked Unlocked
```

```
4 entries found.
```

```
* Hosted Applications:
```

```
Name Version Context Path Deployed
```

```
=====
```

```
CommPilot 21.sp1_1.551 / true
```

```
DeviceManagementFiles 21.sp1_1.551 /DeviceManagement true
```

```
JWSFiles 21.sp1_1.551 /FileRepos true
```

```
MediaFiles 21.sp1_1.551 /media true
```

```
OCIFiles 21.sp1_1.551 /ocifiles true
```

```
5 entries found.
```

## Open Client サーバーがデプロイされ、アクティブであることを確認する

Open Client Server がデプロイされていない場合、またはまだ起動していない場合は、次のコマンドを使用して、セカンダリ アプリケーション サーバに Open Client Server をデプロイして起動します。

**ステップ1:** 次の CLI コマンドを使用してサーバーをデプロイします。

```
AS_CLI/Maintenance/ManagedObjects> deploy application OpenClientServer
```

**ステップ 2:** 次のコマンドでサーバーを起動します。

```
AS_CLI/Maintenance/ManagedObjects> start application OpenClientServer
```

## Numbers アクティベーションを有効にする

CLI で次のコマンドを実行して、番号のアクティブ化を有効にします。

**ステップ1:** *Run the AS\_CLI> cd SubscriberMgmt/NumberActivation command.*

**ステップ2:** *Run the AS\_CLI> set dnMode groupAndUserActivationEnabled command.*

**ステップ3:** *At the confirmation prompt, enter Y.*

## 抽出ツール

抽出ツールには2つのバリエーションがあります。

1. BroadWorks および Webex for BroadWorks の移行の場合、Extract ツールはパートナー ネットワーク内のセカンダリ BroadWorks アプリケーション サーバー上で実行され、OCI-P 経由で接続します。

2. BroadCloud への移行の場合、Extract ツールは Rialto プラットフォーム内で実行されます。サービス プロバイダー管理者は、サービス プロバイダー ポータルを使用して抽出リクエストを送信します。

どちらの場合も、このツールは生の企業、グループ、番号、ユーザー、サービス、デバイス、およびソフト クライアントのデータをブロードワークスまたはブロードクラウド プラットフォームから取得し、このデータを変換ツールの入力となる XML ファイルに出力します。

### BroadCloud パートナー向け抽出ツール

抽出ツールはブロードクラウド サービス プロバイダー ポータルに統合されています。サービス プロバイダー管理者は次のことができます。

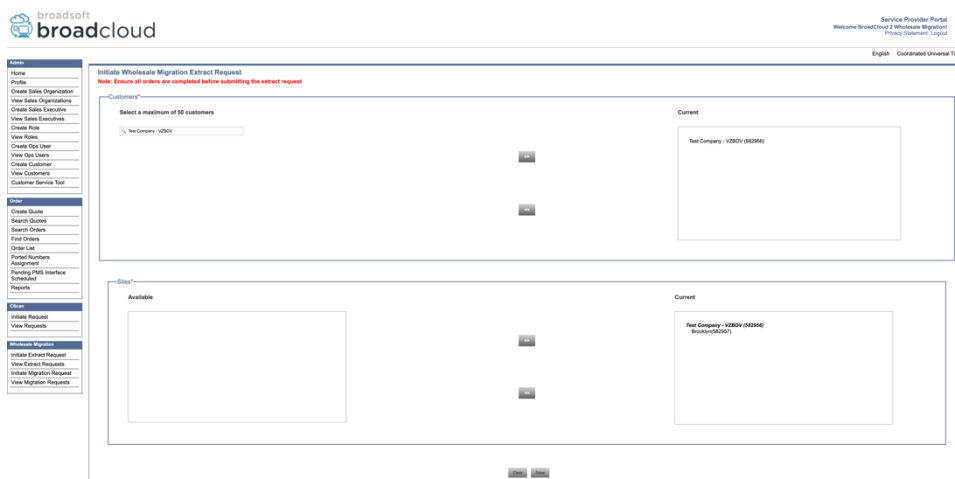
1. 最大 50 人の顧客の抽出リクエストを送信<sup>1</sup> リクエストごとに。

---

<sup>1</sup> 同じ顧客に対して 1 日に 10 回を超えて抽出リクエストを送信することはできません。  
ホールセール RTM ソリューションガイド

- 抽出されたデータ ファイルを ZIP 形式でダウンロードし、リクエストの送信日から最大 28 日間保存できます。

以下の図は、サービス プロバイダー ポータルを示しています。



## ブロードワークス用抽出ツールおよびブロードワークス用 Webex

ブロードワークスおよびブロードワークス用 Webex の場合、抽出ツールはセカンダリブロードワークス AS 上で実行されます。次のセクションでは、抽出ツールをインストールして構成する方法について説明します。

### SCP と SSH

- セカンダリ BroadWorks アプリケーション サーバー内の抽出ツールバイナリを SCP し  
ます。
- セカンダリ BroadWorks アプリケーション サーバーに SSH 接続して、前提条件を構成  
し、抽出ツールを実行します。



## 前提条件

1. conf/exportTool.yml で、BroadWorks から抽出するサービス プロバイダーとグループ ID を構成します。以下のサンプル YAML スニペットを参照してください。

*ServiceProviderID-A:*

- GroupID-A1
- GroupID-A2
- GroupID-A3

*ServiceProviderID-B:*

- ALL

2. セカンダリ BroadWorks アプリケーション サーバーのユーザー ID、パスワード、およびホスト名が正しいことを確認してください。 conf/partner.cfg ファイル:

*userId = admin*

*password = admin*

*hostName = localhost*

*refreshToken = Partner administrator's refresh token copied from the Token Generator tool.*

*migrationMode = Supported values are broadworks\_to\_wholesale and webex\_for\_broadworks\_to\_wholesale.*

*The default value is broadworks\_to\_wholesale. Use webex\_for\_broadworks\_to\_wholesale for Webex for BroadWorks migrations.*

**メモ:** `refreshToken` プロパティは Webex for BroadWorks 移行には必須であり、`migrationMode` は、BroadWorks 移行の場合はオプションです。

3. を変更します。 JDK/JRE の環境パス export.sh ファイル (セカンダリ BroadWorks アプリケーション サーバーの場合) JDK/JRE 環境パスがファイルとは異なります:

*JAVA\_HOME=/usr/local/java/java\_base*

## 実行手順

セカンダリ BroadWorks アプリケーション サーバーで抽出ツールバイナリ ディレクトリから以下のコマンドを実行します。

```
./export.sh
```

## ターミナルログ

エクスポートが成功すると、ターミナルに次のログが表示されます。 BroadSoft データ エク

スポート ツールの実行:

## BroadWorks から Wholesale RTM への移行のための移行ツール

*Running BroadSoft Data Export Tool*

\*\*\*\*\*

*Starting Export Tool v: 1.15.0*

*Export started for SP=collabmigrationtestSP\_engg, Group=collabmigrationtestGRP\_engg*

*Exporting users for SP=collabmigrationtestSP\_engg, Group=collabmigrationtestGRP\_engg*

*Export users completed for SP=collabmigrationtestSP\_engg, Group=collabmigrationtestGRP\_engg*

*Export completed for SP=collabmigrationtestSP\_engg, Group=collabmigrationtestGRP\_engg*

*Export completed*

*Export Dump Zip Directory : output/20221017223452\_ExportTool*

*Export Dump Zip File name :extracted\_data\_1666060500618.zip*

*Zip file with the name extracted\_data\_1666060500618.zip has been created*

*ZIP file creation process completed*

*Exported files converted as ZIP file*

\*\*\*\*\*

## 出力

出力 ZIP (*extracted\_data\_<timestamp>.zip*) ファイルは、同じ抽出ツール バイナリ ディレクトリで利用可能になります。変換ツール入力の ZIP ファイルを表示して使用するには、以下のコマンドを使用します。

```
ls -ltr
```

```
drwxr-xr-x 2 bwadmin bwadmin 4096 Oct 4 11:53 lib/
```

```
-rwxr-xr-x 1 bwadmin bwadmin 956719 Oct 4 11:53 exportTool.jar
```

```
-rwxr-xr-x 1 bwadmin bwadmin 2635 Oct 4 11:53 export.sh
```

```
drwxr-xr-x 2 bwadmin bwadmin 4096 Oct 5 05:04 conf/
```

```
drwxrwxr-x 3 bwadmin bwadmin 4096 Oct 17 22:34 output/
```

```
drwxrwxr-x 2 bwadmin bwadmin 4096 Oct 17 22:34 logs/
```

```
-rw-rw-r-- 1 bwadmin bwadmin 46341 Oct 17 22:35 extracted_data_1666060500618.zip
```

## 変形ツール

このツールはすべての移行に共通です。ブロードワークス、ブロードワークス用 Webex、およびブロードクラウド。

変換ツールは、パートナーの管理者のラップトップを含む任意のコンピューター上で実行され、Webex パブリック API を使用します。このツールは、抽出ツールの出力 ZIP

(*extracted\_data\_<timestamp>.zip*) ファイルを入力として使用し、生の XML をプロビジョニングツールで使用できる JSON 形式に変換します。

## 前提条件

移行ツールのバイナリをダウンロードして抽出した後、変換ツール ディレクトリ内で次の前提条件を構成します。

1. をセットする REFRESH\_TOKEN (トークン生成ツールからコピーされたトークン) そして NAME\_OF\_MAIN\_LOCATION in the conf/partner.cfg file:

```
REFRESH_TOKEN=MzUwYjJjODEtYmQ4MS00NGVhLTgwNGUtZjQ1NTEyZTViNzJkOTdj
NAME_OF_MAIN_LOCATION=Main
```

2. オプションで設定します PROVISIONING\_ID (パートナー ハブのテンプレートからコピー) conf/partner.cfg ファイル:

```
PROVISIONING_ID=YmE4MjFkZGYtYTIkNy00NDdlLWlwdDctYmNkOTM2NjUyYWwQ1
```

3. 必要に応じて、input/customers.csv ファイル (次のセクションを参照)。
4. エンドユーザーの電子メールアドレスを input/users.csv ファイル。メールアドレスが既に登録されている場合は不要です BroadWorks/BroadCloud。
5. に割り当てるユーザーの新しい電話機の MAC アドレスと電子メールアドレスを追加します。input/newphones.csv ファイル。これは、パートナー管理者がホールセール通話で新しい電話機をプロビジョニングする場合にのみ必要です。
6. オプションで、MAC アドレスが BroadWorks デバイス プロファイルで使用できない場合に、SIP REGISTER メッセージの User-Agent ヘッダーからの MAC アドレスの使用を有効にします。 行のコメントを解除します。

```
USE_MAC_ADDRESS_FROM_SIP_REGISTER=yes
```

ファイル内の「`conf/partner.cfg`

## を埋める input/customers.csv

ファイル input/customers.csv BroadWorks または BroadCloud (Rialto) で欠落している可能性のあるデータを提供します。すべての必須情報がブロードワークスまたはブロードクラウドですでに利用可能な場合、このファイルは空のままにすることができます。すべての列を埋める必要はありません。不足している情報のみが必須です。

以下の表では、最も重要な列について説明します。 input/customers.csv。

列名	ルール
Id	<ul style="list-style-type: none"> <li>-ブロードワークス エンタープライズ モード:               <ul style="list-style-type: none"> <li>a) これは企業の BroadWorks serviceProviderId です。</li> <li>b) また、企業内のグループごとに個別の回線が必要です。ID は BroadWorks の groupId です。</li> </ul> </li> <li>- BroadWorks サービスプロバイダー モードでは、これは BroadWorks groupId です。</li> <li>- BroadCloud では、これは Rialto customerId です。</li> </ul>
externalId	<p>これは、この顧客のパートナーの内部識別子と一致する識別子です。この列は、Webex パートナー組織内で一意である必要があります。この列はオプションです。一意の識別子は変換ツールによって自動的に生成されます。この列は、企業内のグループには使用されません。</p>
customerName	<p>企業の場合、この列は Webex 顧客名フィールドとして使用されます。</p> <p>企業内のグループの場合、この列は場所の名前として使用されます。場所の名前は企業内で一意である必要があります。</p>
primaryEmail	<p>これは、Webex 顧客管理者の電子メールアドレスとして使用されます。</p> <p>この列は、企業内のグループの場合はオプションです。</p>
Address columns	<p>企業の場合、この住所は請求先住所および最初の所在地の住所として使用されます。</p> <p>企業内のグループの場合、アドレスは場所のアドレスとして使用されます。</p>

## 実行手順

任意のオペレーティング システムで変換ツールを実行します。Windows および macOS でツールを実行するには、次の手順を使用します。

### Windows

Windows で変換ツールを実行するには、次のコマンドを実行します。

```
transform.bat -extract=<Extract-Tool-Output-Zip-file> -customers=<Input-Path-Customers-CSV> -users=<Input-Path-Users-CSV> -newphones=<Input-Path-NewPhones-CSV>
```

macOS

MAC OS で変換ツールを実行するには、次の手順を実行します。

1. 以下のコマンドを実行して仮想環境を作成し、Python を使用して変換ツールを実行するための依存関係をインストールします。

```
python3 -m venv venv
source venv/bin/activate
python3 -m pip install requests
python3 -m pip install requests-oauthlib
```

2. 以下のコマンドを実行して変換ツールを実行します。

```
./transform.sh -extract=<Extract-Tool-Output-Zip-file> -customers=<Input-Path-Customers-CSV> -users=<Input-Path-Users-CSV> -newphones=<Input-Path-NewPhones-CSV>
```

## 顧客/ユーザーの事前チェック

変換ツールは、Webex Wholesale 事前チェック API を使用して、プロビジョニングの問題の可能性を検出し、事前に修正できるようにします。デフォルトでは、顧客のアドレスとメインの電子メールが検証されます。PROVISIONING\_ID 値が conf/partner.cfg ファイルを作成すると、顧客の位置情報も検証されます。事前チェックの結果は例外レポートに含まれます。

さらに、変換ツールの実行時に次のオプションのパラメーターを追加できます。

- **-precheck**  
変換ツールは、顧客情報の事前チェック API を実行するだけでなく、購読者の電子メールの事前チェック API も実行します。
- **-precheckinfo**  
デフォルトでは、事前チェックエラー(つまり、プロビジョニングをブロックする問題)のみが例外レポートに含まれます。このフラグを追加すると、成功した事前チェック結果も含まれます(たとえば、自動的に接続できる Webex 組織がすでに存在する場合)。

## ターミナルログ

変換が成功すると、ターミナルに次のログが表示されます。

```
Summary Report
BroadWorks enterprises that can be successfully migrated: 1
BroadWorks enterprises that cannot be migrated: 0
BroadWorks users that can be successfully migrated: 4
BroadWorks users that cannot be migrated: 0
Phones that can be successfully migrated: 3
```

Phones that are not compatible with Webex Calling: 0

## 例外報告書

変換ツールは、例外レポートを内部に生成します。 `output/<timestamp>/exception_report.txt` ディレクトリ。 このレポートを使用すると、移行に影響する問題を特定し、ブロードワークス システムで修正できます。 修正を適用した後、新しいデータを使用して抽出と変換ツールを再実行します。 サンプル例外レポート ファイルは次のとおりです。

Exception Report

Tue Oct 18 08:12:09 2022

Enterprises with Communication Barring Feature

Recommendation: manually configure the Outgoing Calling Plan in Control Hub

---

collabmigrationtestGRP\_engg

## 出力

出力された JSON (`customer.json`) ファイルは、 `output/<timestamp>/<groupid>` ディレクトリ。 標本、見本 `customer.json` ファイルは次のとおりです。

```
{
  "customer": {
    "provisioningId": "!!!!!!!!!!REPLACE_WITH_PROVISIONINGID!!!!!!!!!!",
    "packages": [
      "webex_calling",
      "common_area_calling"
    ],
    "externalId": "external_id_engg_grp1",
    "address": {
      "addressLine1": "100 Main Street",
      "addressLine2": "",
      "city": "Gaithersburg",
      "stateOrProvince": "MD",
      "zipOrPostalCode": "20877",
      "country": "US"
    },
    "customerInfo": {
      "name": "Engineering Group - 1",

```

## BroadWorks から Wholesale RTM への移行のための移行ツール

```
"primaryEmail": "amareswaranvel+engineeringgroup1@gmail.com"
},
"provisioningParameters": {
  "calling": {
    "location": {
      "name": "Main",
      "address": {
        "addressLine1": "100 Main Street",
        "addressLine2": "",
        "city": "Gaithersburg",
        "stateOrProvince": "MD",
        "zipOrPostalCode": "20877",
        "country": "US"
      }
    },
    "timezone": "America/New_York",
    "language": "en_us",
    "numbers": [
      "+15205551101",
      "+15205551102",
      "+15205551103",
      "+15205551104",
      "+15205551105",
      "+15205551106",
      "+15205551107",
      "+15205551108",
      "+15205551109",
      "+15205551110"
    ],
    "mainNumber": "+15205551101"
  }
}
},
"broadworks_info": {
  "service_provider_id": "collabmigrationtestSP_engg",
  "group_id": "collabmigrationtestGRP_engg"
},
"subscribers": [
  {
    "amareswaranvel+benjaminjack@gmail.com": {
      "subscriber": {
        "customerId": "!!!!!!!!!!REPLACE_WITH_CUSTOMERID!!!!!!!!!!",
```

## BroadWorks から Wholesale RTM への移行のための移行ツール

```
"email": "amareswaranvel+benjaminjack@gmail.com",
"package": "webex_calling",
"provisioningParameters": {
  "firstName": "Benjamin",
  "lastName": "Jack",
  "primaryPhoneNumber": "+15205551102",
  "extension": "1102"
}
},
"features": [
  {
    "/v1/people/{personId}/features/voicemail": {
      "enabled": true,
      "sendBusyCalls": {
        "enabled": true,
        "greeting": "DEFAULT"
      },
      "sendUnansweredCalls": {
        "enabled": true,
        "greeting": "DEFAULT",
        "numberOfRings": 3
      },
      "messageStorage": {
        "mwiEnabled": true,
        "storageType": "EXTERNAL",
        "externalEmail": "engineering17861@mailnator.com"
      }
    }
  }
],
"devices": [
  {
    "cisUuid": "!!!!!!!!!!REPLACE_WITH_PERSONID!!!!!!!!!!",
    "product": "DMS Cisco 7861",
    "mac": "CC98914EAAD7"
  }
]
},
{
  "amareswaranvel+lucasoliver@gmail.com": {
    "subscriber": {
```



## BroadWorks から Wholesale RTM への移行のための移行ツール

```
"customerId": "!!!!!!!!!!REPLACE_WITH_CUSTOMERID!!!!!!!!!!",
"email": "amareswaranvel+lucasoliver@gmail.com",
"package": "webex_calling",
"provisioningParameters": {
  "firstName": "Lucas",
  "lastName": "Oliver",
  "primaryPhoneNumber": "+15205551103",
  "extension": "1103"
}
},
"features": [
  {
    "/v1/people/{personId}/features/voicemail": {
      "enabled": true,
      "sendBusyCalls": {
        "enabled": true,
        "greeting": "DEFAULT"
      },
      "sendUnansweredCalls": {
        "enabled": true,
        "greeting": "DEFAULT",
        "numberOfRings": 3
      },
      "messageStorage": {
        "mwiEnabled": true,
        "storageType": "EXTERNAL",
        "externalEmail": "engineering16821@mailnator.com"
      }
    }
  }
],
"devices": [
  {
    "cisUuid": "!!!!!!!!!!REPLACE_WITH_PERSONID!!!!!!!!!!",
    "product": "DMS Cisco 6821",
    "mac": "5486BCAE7E45"
  }
]
},
{
  "amareswaranvel+leojackson@gmail.com": {
```

```
"subscriber": {
  "customerId": "!!!!!!!!!!REPLACE_WITH_CUSTOMERID!!!!!!!!!!",
  "email": "amareswaranvel+leojackson@gmail.com",
  "package": "webex_calling",
  "provisioningParameters": {
    "firstName": "Leo",
    "lastName": "Jackson",
    "primaryPhoneNumber": "+15205551104",
    "extension": "1104"
  }
},
"features": [
  {
    "/v1/people/{personId}/features/voicemail": {
      "enabled": true,
      "sendBusyCalls": {
        "enabled": true,
        "greeting": "DEFAULT"
      },
      "sendUnansweredCalls": {
        "enabled": true,
        "greeting": "DEFAULT",
        "numberOfRings": 3
      },
      "messageStorage": {
        "mwiEnabled": true,
        "storageType": "EXTERNAL",
        "externalEmail": "engineeringmacpc@mailnator.com"
      }
    }
  }
],
"devices": []
},
{
  "amareswaranvel+owenalex@gmail.com": {
    "subscriber": {
      "customerId": "!!!!!!!!!!REPLACE_WITH_CUSTOMERID!!!!!!!!!!",
      "email": "amareswaranvel+owenalex@gmail.com",
      "package": "webex_calling",
      "provisioningParameters": {
```

```
"firstName": "Owen",
"lastName": "Alexander",
"primaryPhoneNumber": "+15205551101",
"extension": "1101"
}
},
"features": [
{
"/v1/people/{personId}/features/voicemail": {
"enabled": true,
"sendBusyCalls": {
"enabled": true,
"greeting": "DEFAULT"
},
"sendUnansweredCalls": {
"enabled": true,
"greeting": "DEFAULT",
"numberOfRings": 3
},
"messageStorage": {
"mwiEnabled": true,
"storageType": "EXTERNAL",
"externalEmail": "engineering8811@mailnator.com"
}
}
}
},
"devices": [
{
"cisUuid": "!!!!!!!!REPLACE_WITH_PERSONID!!!!!!!!",
"product": "DMS Cisco 8811",
"mac": "F87B204E4066"
}
]
}
},
"auto_attendants": [],
"call_queues": [],
"hunt_groups": [],
"schedules": [],
"call_parks": [],
```

```
"call_pickups": [],
"paging_groups": [],
"voice_portals": [
  {
    "name": "Automated Voice Portal",
    "firstName": "Automated",
    "lastName": "Voice Portal",
    "languageCode": "en_us",
    "phoneNumber": "+15205551105",
    "extension": "1105"
  }
],
"shared_call_appearances": [],
"business_communicator_desktop_to_upgrade_to_webex_app": [
  "PC Comm - Engg Device Profile"
],
"connect_client_to_upgrade_to_webex_app": [],
"locations": [],
"webex_for_broadworks_info": {
  "users": [
    {
      "id":
"Y2lzY29zcGFyazovL3VzL1NVQINDUKICRVlvY2QzNGViNWYtYTVmMi00OWQ1LTlkNWMtZTg1MDJiMDE4YTQ5"
    }
  ],
  "hydra_orgId":
"Y2lzY29zcGFyazovL3VzL09SR0FOSVpBVEIPTi9jMjJiYTMwNC1mODQ4LTRlOTktYWVmYy0zYWwRIMjBmYTgzZTg",
  "hydra_customer_config_id":
"Y2lzY29zcGFyazovL3VzL0VOVEVSUFJlU0UvYmlyMzA1MDEtMTUzMS00MzNiLTlIM2QtODExY2FIYExYmVh"
}
}
```

**メモ:** `webex\_for\_broadworks\_info` JSON プロパティは、ブロードワークス移行用の Webex にのみ存在します。  
`broadcloud\_info` JSON プロパティは、BroadCloud 移行の場合にのみ存在します。

## プロビジョニングツール

このツールはすべての移行に共通です。ブロードワークス、ブロードワークス用 Webex、およびブロードクラウド。

プロビジョニング ツールは、任意のマシン (パートナーの管理者のラップトップ) で実行でき、Webex パブリック API を使用します。このツールは、変換ツールの出力 JSON (*customer.json*) ファイルを入力として使用し、Webex Wholesale RTM ソリューションで顧客、場所、番号、ユーザー、サービス、デバイスをプロビジョニングします。

## 前提条件

移行ツールのバイナリをダウンロードして抽出した後、プロビジョニング ツールのディレクトリ内で次の前提条件を構成します。

1. Java 8、11、または 17 をコンピューターにインストールします。Java は、次のような多くのソースから入手できます。

<https://learn.microsoft.com/en-us/java/openjdk/download>

<https://aws.amazon.com/corretto/>

[https://download.oracle.com/java/17/latest/jdk-17\\_macos-x64\\_bin.dmg](https://download.oracle.com/java/17/latest/jdk-17_macos-x64_bin.dmg)

2. 移行ツールのバイナリをダウンロードして解凍した後、`JAVA_HOME` の環境変数 `provisioning_tool.sh` MAC用と `provisioning_tool.bat` Windows用。

3. の `partner.cfg` ファイル:

4. をセットする `PROVISIONING_ID` そして `REFRESH_TOKEN` (トークン生成ツールからコピーされたトークン)。パートナー管理者はアカウント チームに連絡して、`PROVISIONING_ID`:

```
PROVISIONING_ID=Y2U4YWQxYmQtMWZlNy00NjRiLWExMmltMGJkODMzN2U5NmU0
```

```
REFRESH_TOKEN=MzUwYjJjODEtYmQ4MS00NGVhLTgwNGUtZjQ1NTEyZTViNzJkOTdj
```

5. セット `ALLOW_ADMIN_INVITE_EMAILS` パートナーがユーザーにウェルカム電子メールを送信したくない場合は `false` に設定します。デフォルト値は `true` です。

6. `MIGRATION_MODE` = 許可される値は次のとおりです `broadworks_to_wholesale`、`webex_for_broadworks_to_wholesale`、`broadcloud_migration_same_region`、そして `broadcloud_migration_to_another_region`。このプロパティは、BroadWorks 移行のオプションです。`を使用してください `webex_for_broadworks_to_wholesale` `ブロードワークス移行のための Webex の場合。`のいずれかを使用します `broadcloud_migration_same_region``、または `broadcloud_migration_to_another_region``ブロードクラウドへの移行の場合。

7. 使用 WEBEX4BWKS\_EMAIL\_SUBJECT Webex for BroadWorks の移行のプロパティを使用して、Webex for BroadWorks 加入者にパスワード変更リクエストの電子メール件名を送信します。
8. 使用 WEBEX4BWKS\_EMAIL\_BODY Webex for BroadWorks の移行のプロパティを使用して、Webex for BroadWorks 加入者にパスワード変更リクエストの電子メール本文を送信します。

同じリージョンの BroadCloud 移行の場合、

1. ツールは、番号、デバイス、および共有コール アピアランスのプロビジョニングをスキップします。
2. ツールは、拡張子および一時拡張子を持つユーザーと仮想ユーザーを作成します。

BroadCloud への移行の場合は別のリージョン、

1. ツールは、番号、デバイス、および共有コール アピアランスをプロビジョニングします。
2. このツールは、実際の電話番号と内線番号を使用してユーザーと仮想ユーザーを作成します。

## 実行手順

任意のオペレーティング システムでプロビジョニング ツールを実行します。Windows および macOS でツールを実行するには、次の手順を使用します。

### Windows

Windows OS で変換ツールを実行するには、次の手順を実行します。

単一の顧客をプロビジョニングするには:

```
provision.bat -input=<Transform-Tool-Output-Customer-JSON-File-Path>
```

複数の顧客をプロビジョニングするには:

## BroadWorks から Wholesale RTM への移行のための移行ツール

```
provision.bat -input=<Transform-Tool-Timestamp-Output-Directory-Path>
```

macOS

MAC OS で変換ツールを実行するには、次の手順を実行します。

単一の顧客をプロビジョニングするには:

```
./provision.sh -input=<Transform-Tool-Output-Customer-JSON-File-Path>
```

複数の顧客をプロビジョニングするには:

```
./provision.sh -input=<Transform-Tool-Timestamp-Output-Directory-Path>
```

## ターミナルログ

プロビジョニングが成功すると、ターミナルに次のログが取得されます。

```
Tool Name: Provisioning Tool
```

```
Version: 1.15.0
```

```
***** Started Processing File : input/customer.json *****
```

```
Provisioning Customer
```

```
Waiting for customer external_id_engg_grp1 to complete provisioning...
```

```
Waiting for customer external_id_engg_grp1 to complete provisioning...
```

```
Customer external_id_engg_grp1 status : provisioned
```

```
Provisioning Numbers
```

```
Provisioning Users
```

```
Provisioning User Features
```

```
Provisioning Greetings
```

```
Provisioning Schedules
```

```
Provisioning Devices
```

```
Provisioning Shared Call Appearances
```

```
Provisioning Auto Attendants
```

```
Provisioning Call Queues
```

```
Provisioning Hunt Groups
```

```
Provisioning Group Pagings
```

```
Provisioning Call Parks
```

```
Provisioning Call Pickups
```

```
Provisioning Voice Portal
```

## BroadWorks から Wholesale RTM への移行のための移行ツール

\*\*\*\*\* Completed File : input/customer.json \*\*\*\*\*

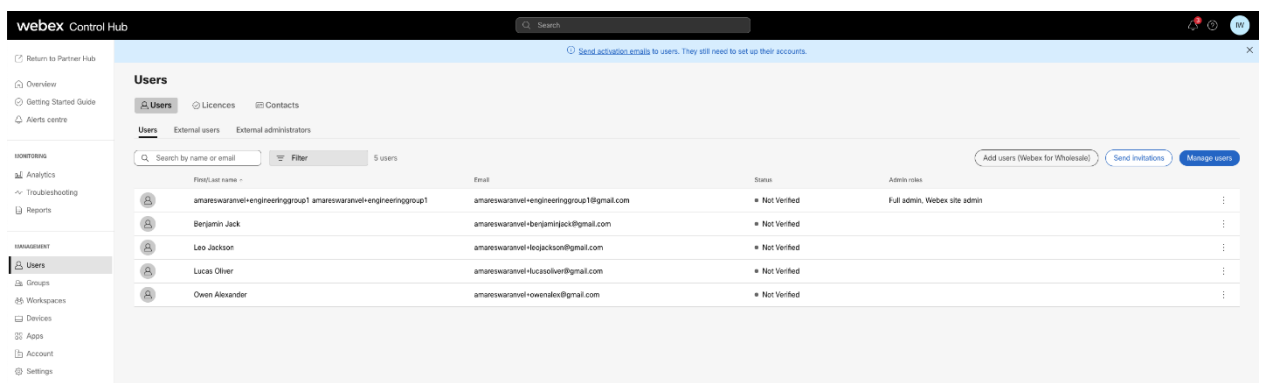
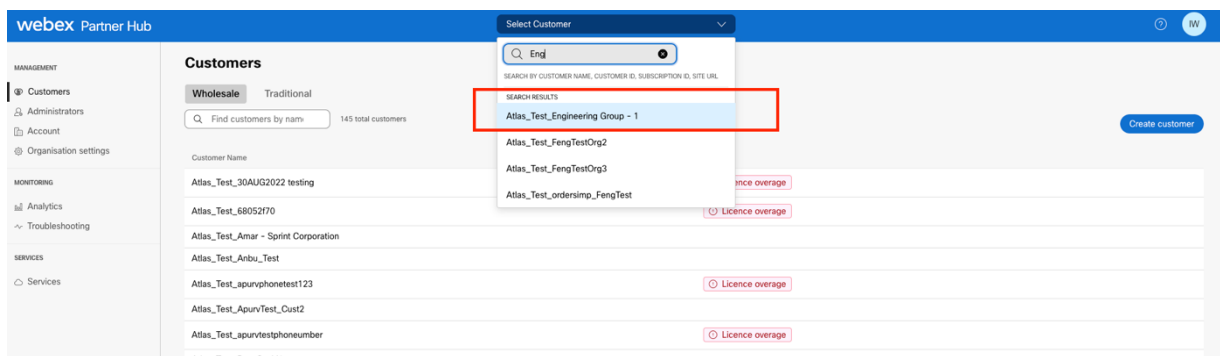
### 出力

プロビジョニング ツールは、内部で成功レポートとエラー レポートを生成します。

output/<external\_id>/\*.success/error ファイル。これらの成功ファイルとエラー ファイルを使用して、プロビジョニングが成功したかどうかを確認できます。

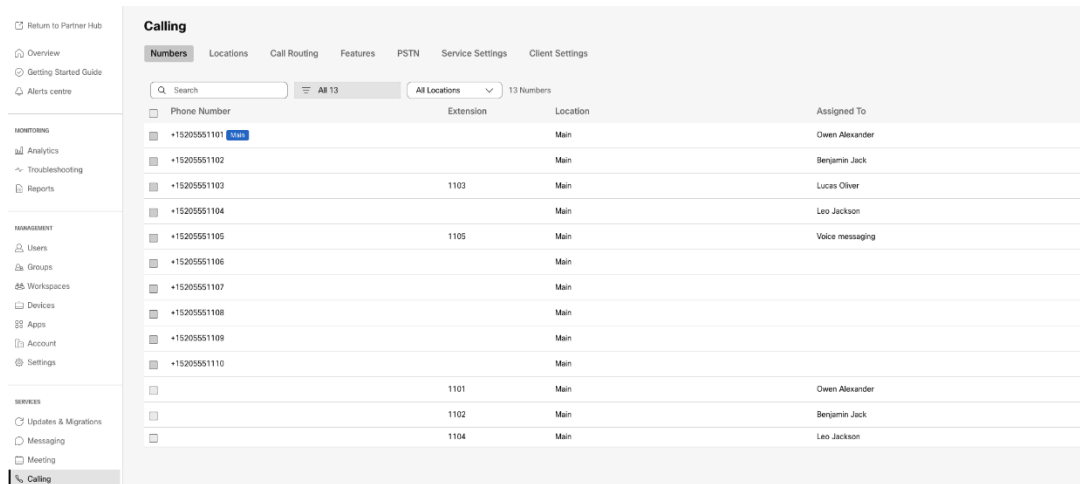
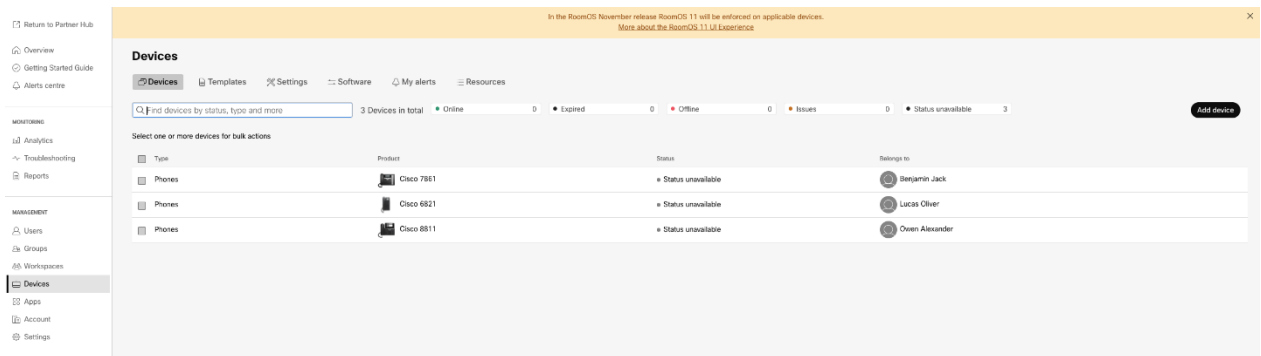
**メモ:** プロビジョニング ツールが正常に実行されると、顧客管理者とエンド ユーザーは Wholesale RTM ソリューションから電子メールを受け取ります。

プロビジョニングが成功すると、パートナー管理者はパートナー ハブおよびコントロール ハブ ポータルで顧客のプロビジョニングを確認できます。パートナー ハブおよびコントロール ハブ ポータルの次の図を参照してください。





## BroadWorks から Wholesale RTM への移行のための移行ツール



## デバイス移動ツール

デバイス移動ツールには2つのバリエーションがあります。

1. BroadWorks および Webex for BroadWorks の移行の場合、ツールはパートナー ネットワーク内のセカンダリ BroadWorks アプリケーション サーバー上で実行され、OCI-P 経由で接続します。
2. BroadCloud への移行の場合、このツールは Rialto プラットフォーム内で実行されます。サービス プロバイダー管理者は、サービス プロバイダー ポータルを使用して移動リクエストを送信します。

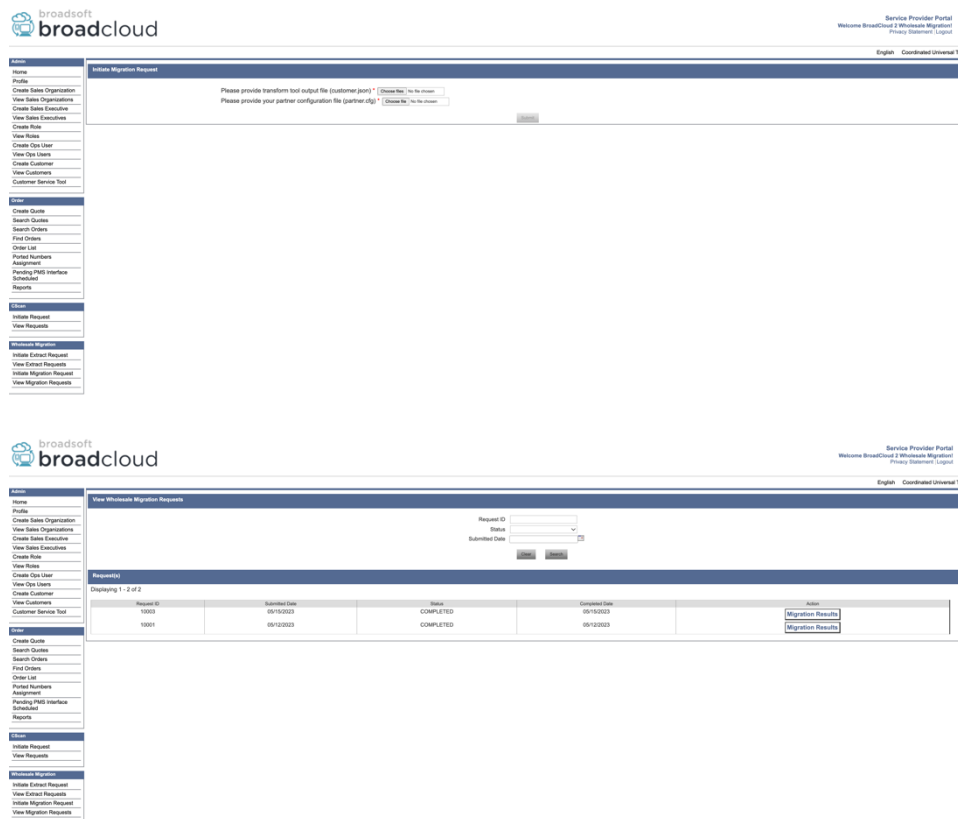
## ブロードクラウド用デバイス移動ツール

BroadCloud パートナーの場合は、サービス プロバイダー ポータルを使用して、番号、デバイス、SCA 移行の移行リクエストを送信します。

## BroadWorks から Wholesale RTM への移行のための移行ツール

サービスプロバイダーポータル内では、移行リクエストには最大 50 人の顧客を含めることができます。1日に最大 10 件のリクエストを送信できます。

以下の図は、サービスプロバイダーポータルを示しています。



ブロードワークス用デバイス移動ツールおよびブロードワークス用 Webex デバイス移動ツールは、セカンダリ BroadWorks アプリケーション サーバー内で実行する必要があります。このツールは、変換ツールの出力 JSON (*customer.json*) ファイルを入力として使用し、OCI-P コマンドを実行してデバイスとソフトクライアントを移行します。

デバイス移動ツールの実行が成功すると、以下の操作が実行されます。

1. BWKS からデバイスの登録を解除し、Wholesale RTM ソリューションに登録します。
2. UC-One クライアントを持つユーザーは、初回ログイン時に Webex アプリにリダイレクトされます。
3. ブロードワークスから電話番号を非アクティブ化し、ブロードクラウドから電話番号を削除します。
4. Wholesale RTM ソリューションの番号を有効にします。
5. BroadCloud への移行のために Wholesale で共有コール アピランスを作成します。

## SCP と SSH

1. デバイスのSCP 動く セカンダリ BroadWorks アプリケーション サーバー内のツール バイナリ。
2. セカンダリ BroadWorks アプリケーション サーバーに SSH 接続して、前提条件を構成し、デバイス移動ツールを実行します。

## 前提条件

1. をセットする REFRESH\_TOKEN (トークン生成ツールからコピーされたトークン) の中に conf/partner.cfg ファイル:

```
REFRESH_TOKEN=MzUwYjJjODEtYmQ4MS00NGVhLTgwNGUtZjQ1NTEyZTViNzJkOTdj
```

2. セカンダリ BroadWorks アプリケーション サーバーのユーザー ID、パスワード、およびホスト名が正しいことを確認してください。 conf/deviceMoveTool.conf ファイル:

```
BW_USER_ID = admin  
BW_PASSWORD = admin  
BW_HOST_NAME = localhost
```

3. を変更します。 JDK/JRE の環境パス devicemove.sh ファイル (セカンダリ BroadWorks アプリケーション サーバーの場合) JDK/JRE 環境パスがファイルとは異なります:

```
JAVA_HOME=/usr/local/java/java_base
```

## ポリコム電話機

Polycom 電話を BroadWorks から Wholesale Calling に自動的に移行するには、パートナー管理者は、BroadWorks のシステム レベルで新しい ID/デバイス プロファイル タイプ ファイルを作成する必要があります。 **それぞれ** ポリコム デバイス テンプレート。 次のページのスクリーンショットに従って、カスタム ファイルをアップロードします。 `device-move-tool/conf/deviceProfile/{region}/polycom_vvx.cfg`。 新しいデバイス ファイルをアップロードした後、新しく作成されたファイルがグループ レベルに存在することを確認してください。 ファイルも確認してください migration\_%BWMAC ADDRESS%.cfg システム内の既存のファイルと競合しません)。

メモ: ファイルを無視する `device-move-tool/conf/deviceProfile/{region}/polycom_vvx2.cfg` 一緒に見つかるもの `polycom_vvx.cfg`。これは、デバイス移動ツールによって内部的に使用されます。

Polycom 電話の移行プロセスは次のとおりです。

1. デバイス移動ツールはファイルを自動的に置き換えます

`%BWMACADDRESS%.cfg` デバイスレベルでファイルを使用して `polycom_vvx2.cfg`。このファイルが参照していることに注意してください。 `migration_%BWMACADDRESS%.cfg`。

2. デバイス移動ツールは、グループ レベルまたはデバイス レベルでデバイス プロファイルを再構築するように BroadWorks AS に要求します。<sup>2</sup>。

3. デバイス移動ツールは、グループ レベルまたはデバイス レベルで電話機を再起動するように BroadWorks AS に要求します。

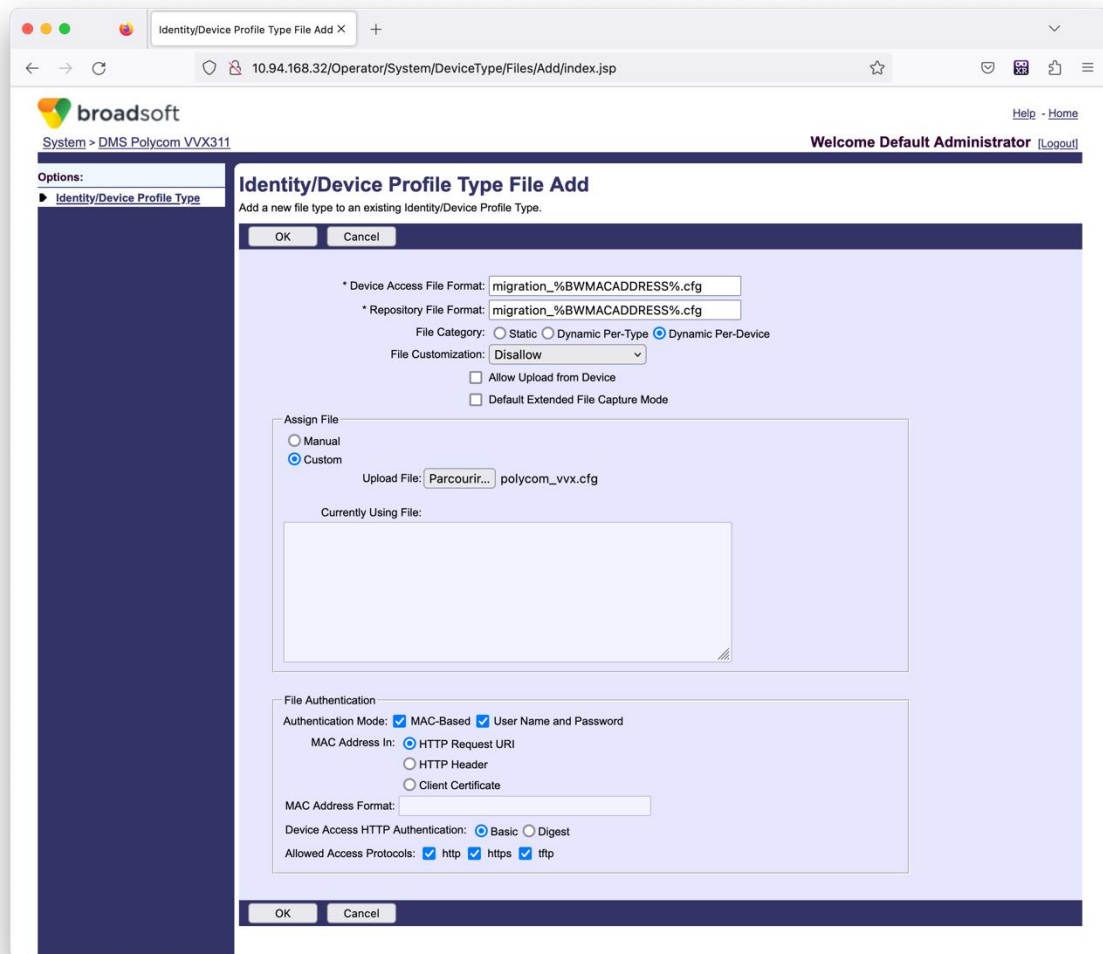
4. 再起動要求の後、Polycom 電話機はダウンロードして処理します。`%BWMACADDRESS%.cfg`、Polycom 電話機にダウンロードと処理を要求します。`migration_%BWMACADDRESS%.cfg`を設定します。 `device.prov.serverName` に `https://plcm.sipflash.com`<sup>3</sup>

5. Polycom 電話機のダウンロード `%BWMACADDRESS%.cfg` から `https://plcm.sipflash.com` Webex Calling DMS によって管理されます。

---

<sup>2</sup> グループ レベルまたはデバイス レベルで動作するかどうかは、ファイル内のパラメータ `deviceLevelRebuild` の設定によって決まります。 `device-move-tool/conf/partner.cfg`。

<sup>3</sup> `https://plcm.sipflash.com` 米国地域の場合、他の地域の URL は異なります。



**メモ:** 「MAC アドレス in:」フィールドには、Polycom テンプレート内の他のファイルと同じ値を使用します。(スクリーンショットでは HTTP リクエスト URI を使用していますが、これはパートナーの BroadWorks AS 導入には適切ではない可能性があります。)

## 実行手順

デバイス移動ツール ディレクトリ内のセカンダリ BroadWorks アプリケーション サーバーで以下のコマンドを実行します。

デバイスの移動が 1 人のお客様の場合:

```
./devicemove.sh -input=<Transform-Tool-Output-Customer-JSON-File-Path>
```

複数のお客様がデバイスを移動する場合:

```
./devicemove.sh -input=<Transform-Tool-Timestamp-Output-Directory-Path>
```

## ターミナルログ

デバイス移行のためのデバイス移動ツールの実行に成功すると、ターミナルに次のログが取得されます。

*Tool Name: Device Move Tool*

*Version: 1.15.0*

*Device Tool Started...*

*Valid Devices for migration :*

```
-----  
| Device Type | Mac | Version | Email |  
-----  
| DMS Cisco 7861 | CC98914EAAD7 | Cisco-CP-7861-3PCC/11.3.7_cc98914eaad7_ | amareswaranvel+benjaminjack@gmail.com |  
| DMS Cisco 6821 | 5486BCAE7E45 | Cisco-CP-6821-3PCC/11.3.7_5486bcae7e45_ | amareswaranvel+lucasoliver@gmail.com |  
| DMS Cisco 8811 | F87B204E4066 | Cisco-CP-8811-3PCC/11.3.7_f87b204e4066_ | amareswaranvel+owenalex@gmail.com |  
-----
```

*Do you want to migrate all these devices? ([Y]es or [N]o)*

*yes*

*Uploading Device Profiles for DMS Cisco MPP LC*

*Rebuild Device Process Started*

*Rebuild Device Process Completed Successfully*

*Reboot Process Started*

*Reboot Process Completed Successfully*

*Modifying profiles for Business Communicator under group collabmigrationtestGRP\_engg*

*Activate webex phone numbers process started for customer org id : 85ea1d6f-ff9e-41a1-843f-7362aaf12b4c*

*Activate webex phone numbers process completed for customer org id : 85ea1d6f-ff9e-41a1-843f-7362aaf12b4c*

*Deactivate broadworks phone numbers process started for groupId : collabmigrationtestGRP\_engg*

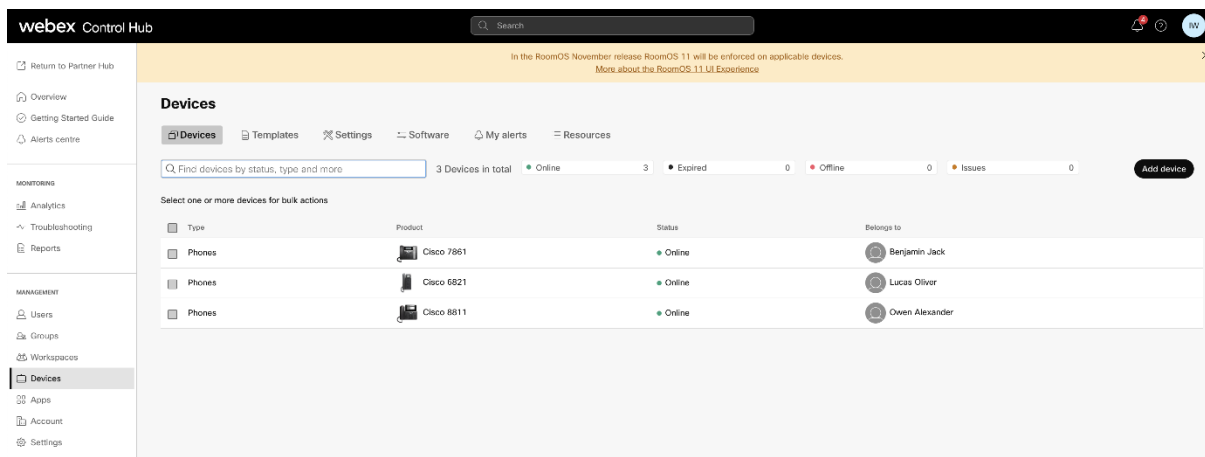
*Deactivate broadworks phone numbers process completed for groupId : collabmigrationtestGRP\_engg*

*Device Migration Completed*

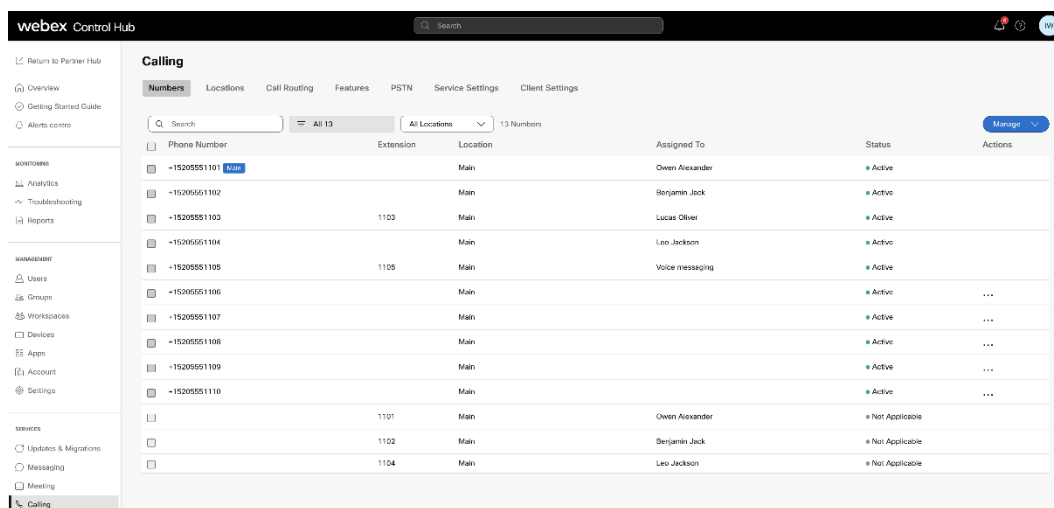
## 出力

デバイスの移行後、デバイスはオンラインになり、電話をかけたり受けたりできるようになります。 デバイスのステータスがオンラインかどうかを確認するには、次の図を参照してください。

## BroadWorks から Wholesale RTM への移行のための移行ツール



デバイスの移行後、番号がアクティブになります。番号がアクティブかどうかを確認するには、次の図を参照してください。



### コントロールハブを介して電話番号をアクティブ化する

パートナー管理者がブロードワークスからホールセールに移動するデバイスを持っていない場合は、デバイス移動ツールを実行する必要はありません。パートナー管理者は、以下のパブリックリンクを使用して、Control Hub ポータルから直接電話番号をアクティブ化できます。

<https://help.webex.com/en-us/article/wkj3f0/Manage-phone-numbers-in-Control-Hub>

メモ: パートナー管理者が Control Hub を通じて電話番号をアクティブ化する場合、ブロードワークスでの電話番号の非アクティブ化はオプションです。

## サポートされていないデバイス

お客様が Wholesale RTM ソリューションでサポートされていないデバイスを使用している場合、それらのデバイスは移行の対象になりません。 この場合、次のオプションがあります

。

1. 移行する前に、BroadWorks で新しい電話をプロビジョニングします。
2. 古い電話機をブロードワークスに残しておく、ユーザーは電話をかけたり受けたりするために Webex アプリをインストールする必要があります。

## 移行後

移行後の影響は次のとおりです。

### 管理者の影響

移行後、管理者は次のことを行う必要があります。

- CommPilot ではなくパートナー ハブとコントロール ハブを使用して機能を構成し始めます。
- 移行に含まれない機能を再構成します。
- Webex Calling のダイヤルプランについて学びます。ダイヤルプランとアクセスコードは構成できないことに注意してください。

### ユーザーへの影響

移行プロセスがユーザーに与える影響は最小限です。 サポートされている機能は、移行後も移行前と同じように機能する必要があります。 サポートされていないものについては、ユーザーに影響がないことを確認するために、管理者は移行後に Webex で再構成する必要があります。

- 移行後、ユーザーは通話履歴とメッセージ履歴を失います。



- ユーザーは、個人のキーライン設定とカスタマイズ (短縮ダイヤルなど) をすべて失います。ユーザーは移行後にこれらの設定を再構成する必要があります。
- ユーザーは、最初のログイン時にアクセス コードとパスワードをリセットする必要があります。
- UC-One クライアントを使用するユーザーは、最初にログインして Webex アプリにアップグレードする必要があります。
- 通話クライアントを持たないユーザーは、Webex アプリをダウンロードしてインストールする必要があります。

## 移行を元に戻す

復元操作には、デバイス移動ツール、Webex Calling CPE チーム、およびパートナー管理者が関与します。元に戻す操作は、一度に 1 つの企業に対して実行する必要があります。

## 移行を元に戻す – ブロードワークスとブロードワークス向け Webex

ブロードワークスと Webex for BroadWorks の復帰プロセスは次のとおりです。

1. Cisco TAC でチケットを開き、デバイスの復帰をリクエストします
2. セカンダリ BroadWorks アプリケーション サーバー内でデバイス移動ツールを元に戻すモードで実行して、デバイスの移行を元に戻します。
  - a. デバイス移動ツールは、DMS URL をブロードワークスのデバイス プロファイルのサービス プロバイダーの DMS URL に戻します。
  - b. これにより、ブロードワークスに戻って Numbers が有効になります。
3. Webex Calling チームは、ホールセール RTM ソリューションのデバイス プロファイルで DMS URL をサービス プロバイダーの DMS URL に戻します。
4. パートナー管理者は、CH ポータルを通じて Wholesale RTM ソリューションの電話番号を非アクティブ化/削除する必要があります。
5. パートナー管理者は、PSTN 電話番号をブロードワークスに戻す必要があります。

## デバイス移動ツールを元に戻すモードで実行する手順

デバイス移動ツールを元に戻すモードで実行するには、次の手順に従います。

デバイス移動ツール ディレクトリ内のセカンダリ BroadWorks アプリケーション サーバーで

以下のコマンドを実行します。

### プロフィールを元に戻す

```
./devicemove.sh -input= <Transform-Tool-Output-Customer-JSON-File-Path> -revertProfiles
```

### 番号を元に戻す

```
./devicemove.sh -input= <Transform-Tool-Output-Customer-JSON-File-Path> -revertNumbers
```

## ターミナルログ

元に戻す操作のためのデバイス移動ツールの実行に成功すると、ターミナルに次のログが取得されます。

### プロフィールを元に戻す

Tool Name: Device Move Tool

Version: 1.15.0

Device Tool Started for Revert Process...

Devices that can be moved back from Webex Calling to BroadWorks:

```
-----  
| Device Type | Mac | Version | Email |  
-----  
| DMS Cisco 7861 | CC98914EAAD7 | Cisco-CP-7861-3PCC/11.3.7_cc98914eaa7_ |  
amarewaranvel+benjaminjack@gmail.com |  
| DMS Cisco 6821 | 5486BCAE7E45 | Cisco-CP-6821-3PCC/11.3.7_5486bcae7e45_ |  
amarewaranvel+lucasliver@gmail.com |  
| DMS Cisco 8811 | F87B204E4066 | Cisco-CP-8811-3PCC/11.3.7_f87b204e4066_ |  
amarewaranvel+owenalex@gmail.com |  
-----
```

Do you want to move back these devices from Webex Calling to BroadWorks? (Yes, Y, No, N):

yes

Uploading Device Profiles for DMS Cisco MPP LC

Rebuild Device Process Started

Rebuild Device Process Completed Successfully

Reboot Process Started

Reboot Process Completed Successfully

Device Migration Completed for Deprovision Process

## 番号を元に戻す

Tool Name: Device Move Tool

Version: 1.15.0

Do you want to continue reverting numbers to Broadworks ? ([Y]es or [N]o):

Y

[+15205551101, +15205551102, +15205551103, +15205551104, +15205551105, +15205551106, +15205551107, +15205551108, +15205551109, +15205551110]

Starting revert

Activate broadworks phone numbers process started for groupId : collabmigrationtestGRP\_engg

Activate broadworks phone numbers process completed for groupId : collabmigrationtestGRP\_engg

Device Migration Revert process Completed Successfully

## 移行を元に戻す – ブロードクラウド キャリア

BroadCloud パートナーの元に戻すプロセスは次のとおりです。

1. Cisco TAC でチケットを開き、デバイスの復帰をリクエストします
2. 元に戻すモードでデバイス移動ツールを実行します。
  - a. 電話番号は Webex Calling から割り当てられず、ユーザーとサービスには内線番号のみが残ります。
  - b. Webex Calling の電子メール アドレスは一時的な電子メール アドレスに戻ります。
  - c. 電話は Webex Calling から削除されます
  - d. 電話番号、alternedId として使用される電子メール アドレス、および電話は BroadCloud で再作成されます
  - e. 電話機が再起動されます
3. パートナー管理者は、PSTN 電話番号をブロードクラウド キャリアに戻す必要があります。

## 技術的な制限

1. デバイス移動ツールは、復元操作中の技術的な制限により、ホールセール コールの番号を非アクティブにしません。